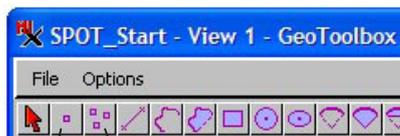


# ポイント / マルチポイントとオプション

CAD やスケッチ、シェイプオブジェクトは、マルチポイントやマルチライン、マルチポリゴン要素を持つことができます。これらの要素タイプは、トポロジー上の制約のためにベクタやTINオブジェクトに対しては使えません。マルチポイント / ライン / ポリゴンは1つ以上の要素から成る複合要素で、選択やその後の操作に対して1つの要素としてグループ化されています。これらの複合的な要素を含むオブジェクトを描くと、個別の要素が複数個表示されるのと何ら違いは見えません。しかし、要素の選択で、複合要素の一部である要素の1つをクリックすると、複数のポイント、ライン、ポリゴンが選択されます。空間エディタには、CAD やシェイプオブジェクトの編集において、複合要素をバラバラの要素に分けるツールがあります。

ジオツールボックスでは、ポイントとマルチポイントを分けて選択できるように別々のアイコンボタンがあります。ジオツールボックスのマルチポイント用のアイコンは、マルチポイントモードを間違えて使用しないように設けてあります。

空間エディタにはポイント要素を追加するボタンが1つあり、操作に応じて、CAD やシェイプオブジェクト中にポイントやマルチポイントを作成することができます。マルチライン / ポリゴンの作成は、単一のライン / ポリゴンの作成よりも慎重な操作を必要とします。マルチポイントは複合要素の中の各ポイントの位置で左クリックすることで追加され、右クリックによってマルチポイント全体の入力が完了します。単一ライン / ポリゴンの追加とマルチライン / ポリゴンの追加を切り替える方法は、テクニカルガイドの“空間エディタ：グラフィックツールアップデート (Spatial Editor : Graphic Tool Updates)”で説明されています。



ポイント マルチポイント

単一ポイントが1つ選択されています



ポイントとマルチポイントの混在

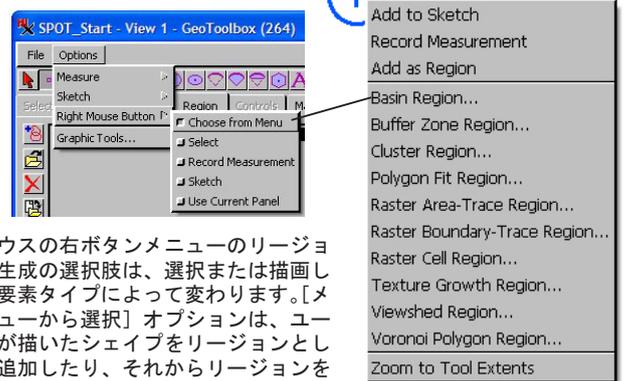
マルチポイントが1つ選択されています

3つの単一ポイントと、1つの複合ポイント(5つのポイントから構成)を含むポイントの表示。中央のマゼンダ色のポイントは、単一ポイントの近くでクリックして選択したものの。右の点群は複合ポイントの近くでクリックしたものの。

[ポイント (Point)] ツールと [マルチポイント (Multi-Point)] ツールの操作はやや異なります。単一ポイントを追加するとき、続けて左クリックするとポイントの位置が変わり、右クリックすることで最終位置が決定されます。[マルチポイント] ツールを使う場合、左クリックをする度に複合要素の一部としてポイントが追加されます。どちらの場合も、右クリックによってポイントやマルチポイントを今の位置に追加することで、新規要素の作成が完了します。

マルチポイントの中の個々のポイントの位置を変更するには、空間エディタの中の [編集 (Edit)] ツールを使う必要があります。空間エディタの [複合要素を分離 (Separate Complex Elements)] ツールを使ってマルチポイント要素の中の個々のポイントを複数の単一ポイントに分けることができます。

ジオツールボックスからポイント / マルチポイントを追加するとき、右マウスクリックの動作を設定することができます (<ジオツールボックス (GeoToolbox)> ウィンドウの [オプション (Options)] > [右マウスボタン (Right Mouse Button)])。右クリックしたときポップアップメニューから希望する動作を選択するか、あるいは右クリックによって自動的にある決まった動作 (要素をスケッチに追加または測定パラメータを記録するなど) を行わせるかをユーザが設定できます。対応するオプションが設定されていて測定のためのスケッチオブジェクトやファイルが開かない場合、最初に右クリックしたときにオブジェクトまたはファイル (新規でも既存でも) を選択するよう促されます。



マウスの右ボタンメニューのリージョン生成の選択肢は、選択または描画した要素タイプによって変わります。[メニューから選択] オプションは、ユーザが描いたシェイプをリージョンとして追加したり、それからリージョンを発生させる場合にアクティブでなければなりません。

[メニューから選択 (Choose from Menu)] オプションを使うと、右クリックの動作を色々と設定することができます。例えばユーザが描いた領域の内外の要素を選択したり、描いた要素をスケッチレイヤに追加したり、測定パラメータをファイルに記録したり、描いた要素をリージョンとして追加したり、描いた要素からリージョンを発生させたり、ツール (描かれた要素) の範囲にズームしたりすることができます。最後の1つは、単一ポイントを描いた場合は効果がありません。